

誠に申し訳ございませんが、以下の箇所の訂正をお願い申し上げます。

ページ	箇所	訂正前	訂正後
94	問 15 設問 選択肢 3 番	他に合併症を～全文	労作性狭心症や陳旧性心筋梗塞を合併する症例ではアドレナリンβ受容体遮断薬を用いる。
	問 15 設問 選択肢 5 番	全文	削除
	問 15 解答	2・5	2・3
	解説 3 番	×：高齢者は～全文	○：β遮断薬は、心臓の酸素消費量を減少させるとともに、抗不整脈作用を併せ持つ。したがって、労作性狭心症や陳旧性心筋梗塞を合併する症例に用いられる。
	解説 5 番	○：β遮断薬は、心臓の～全文	削除
134	表内 医薬品 3 番 特徴・副作用	トロンピン作用に加えてプロテインC活性化抑制作用を有する。	抗トロンピン作用に加え、プロテインC活性化作用を有する。
375	問 20-1 設問	設問 5 番の記載なし	5 腎機能の低下を認めるが、肝機能障害はない。
460	問 3-1 設問	症例文の抜け	84 歳女性。女性の家族が近所の保険薬局に処方せんを持参した。最近になって女性の記憶力低下(物忘れ)が気になり、脳神経外科を受診したとのことであった。医師により軽度のアルツハイマー型認知症と診断され、今回が初回投薬となった。その処方内容は次の通りであった。 (処方 1) ドネペジル塩酸塩錠 5 mg 1 回 1 錠 (1 日 1 錠) 1 日 1 回 朝食後 7 日分 (処方 2) レバミピド錠 100 mg 1 回 1 錠 (1 日 3 錠) 1 日 3 回 朝昼夕食後 7 日分
759	問 9 設問 D	D 投与群の X 発症のオッズ比は、7/3・E は、X の発症率を 10% 低下させた。	D 投与群の X 発症のオッズ比は、7/39 であった。